

## 1. 件名

原子燃料工業(株)熊取事業所における加工施設の設計及び工事の計画の認可申請に関する面談(5-26)

## 2. 日時

令和4年6月16日(木) 13時30分～17時00分

## 3. 場所

原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

## 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 核燃料施設審査部門

長谷川安全規制管理官、小澤安全管理調査官、野村主任安全審査官、  
内海安全審査官、鈴木安全審査専門職

検査グループ 専門検査部門

早川上席原子力専門検査官、永井主任原子力専門検査官

熊取原子力規制事務所

大東統括原子力運転検査官

原子燃料工業株式会社

伊藤取締役執行役員、熊取事業所担当部長 他9名

## 5. 要旨

原子力規制庁は、原子燃料工業(株)から令和3年2月15日付けで申請のあった熊取事業所の設計及び工事の計画の認可申請(以下「設工認」という。)に関し、耐震計算書に係る総点検結果<sup>※1</sup>について、点検対象施設の一部(焙焼炉No2-1等)を抜き取り、一連の耐震設計のプロセスを確認した。

(1) 原子力規制庁は主に以下の点を確認した。

○耐震設計のプロセスについて、耐震計算に基づく補修箇所の抽出等、おおむね総点検結果の資料で説明のあった対応がなされており、設工認申請書に反映が必要な事項が抽出されていることを確認した。

---

<sup>※1</sup> 令和4年2月22日の原子力規制庁による現地確認において確認された、耐震計算書で補強が必要と評価されたにもかかわらず補強対象として選定されていない接合ボルトが多数存在することを踏まえて原子燃料工業(株)が実施した耐震計算書に係る総点検結果

○一方で、補修作業管理表における補修の管理については、各設計担当からの補修作業管理担当への連絡は、説明資料とメールの送付を実施する社内ルールに従い運用しているとの説明であったが、一部の設備に係る補修対応においては、設備設計グループ長又は各設計担当からの口頭指示で補修作業管理担当による補修作業管理表の修正が行われ、変更経緯の記録が残っていないことを確認した。

6. 配布資料

資料 1 : NFAK-22043-1 熊取事業所 新規制基準適合性 耐震計算書の総点検結果について (報告)

以上